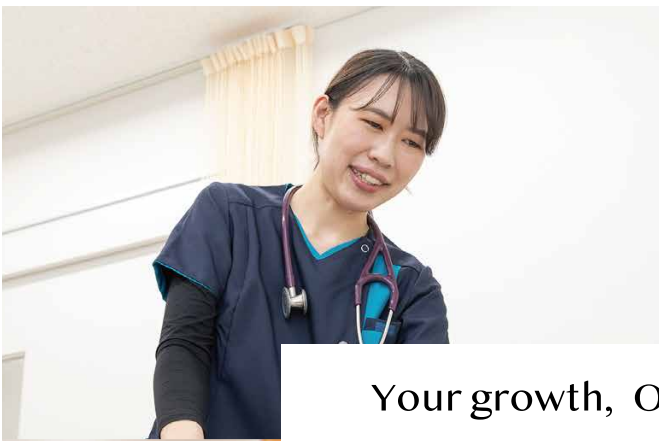




Your growth, Our commitment.



南和で育む、
確かな成長。



南奈良総合医療センター
臨床研修・専門研修紹介



Proud to care for Nankai — your health, our responsibility.

南和地域とともに歩む 南奈良総合医療センターの使命

南和地域の暮らし

奈良県の南半分を占める南和地域には豊かな自然と穏やかな暮らしがあります。かつて林業で栄えたこの地には今も約6万人の人々が暮らしています。大淀町の梨、五條市の柿は全国的にも有名で、日本一大きい村である十津川村を含む山間地域にはアユの川釣りや満点の星空を楽しむキャンプ場、吉野の山桜などの観光スポットがあり、多くの観光客がこの地を訪れます。

医療ニーズへの対応

かつて南和地域には3つの公立救急病院がありましたが、地域住民の多様な医療ニーズに応えるには、より一層の医療充実化を図る必要がありました。そこで奈良県と各自治体が協力し、地域の医療ニーズに応える形で病院再編が行われ、2016年に南奈良総合医療センターが誕生しました。同時に、南和地域での慢性期医療を担う五條病院と吉野病院も整備されました。

地域医療の要

地域唯一の救急病院であり、県内屈指の救急車搬入数を誇ります。屋上にドクターヘリが常駐し、奈良県全土の救急医療や災害医療にも貢献しています。へき地診療所支援や訪問診療・訪問看護の拠点もあり、各専門診療科や専門医療機器も充実し、総合診療医が多数在籍しているため、地域で発生する多様な健康問題に幅広く対応することが可能です。

南和で育む医の原点

病院スタッフ同士の気軽な挨拶が飛び交う暖かな雰囲気や、院外の医療・介護・福祉を含む様々な人々との「顔の見える関係」があり、住民を守るためのしなやかなネットワークの中で地域医療が行われています。地域を知り、ここで暮らす人々を知り、地域への貢献を実感しながら自分の医療を深められる南和地域の恵まれた教育環境を活かし、医療人の育成に取り組んでいます。

Program

臨床研修



南奈良の研修医に
身につけてほしい

3つの価値観

現場主義

現場に足を運び、多くの現場経験を得ましょう。
事前準備、現場経験、振り返りのサイクルが大切です。

患者中心

病気だけではなく、患者の背景や暮らしも重視しましょう。
南奈良で学ぶのは、患者さんの人生を共に創る医療です。

連携志向

診療チームの一員として、診療に貢献しましょう。
一人で抱え込まず、周りと協力する能力も重要です。

南和まるごと研修 あなたの成長を手厚くサポート

南奈良の研修プログラムには、皆さんの成長をサポートする多くの仕掛けがあります。

医師人生のスムーズな始まりを支援するオリエンテーション、**効率的な学習**と幅広い**診療科経験**を重視したローテート、臨床手技や医療機器の取扱いを集中的に学べる**スキルアップウィーク**、診断推論や臨床現場の仕事術を通年で学べる**レジデントデイ**など、「医師の基礎力」が身に付く考え抜かれたカリキュラムです。**各自の進路希望に配慮した選択科目**もあり、院内各科および奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センターをはじめとする他病院各科も選択可能です。

また、普段の救急外来研修、当直時の救急外来や病棟対応では指導医のサポートのもとでファーストタッチから治療方針立案・病状説明まで担うことができ、総合診療科研修では**病棟主担当医**として診療の全過程を経験できます。通年で毎月行われる定期外来研修では、総合診療医の直接指導下で**外来主治医**を経験でき、現場で必要とされる能力を伸ばすことができます。

さらに、外来研修・ER研修・当直勤務のたびに**振り返り**を行い、病棟研修期間も各科指導者と定期面談を行うので、現場経験をやりっぱなしにせず確実に理解し、成長に繋げることができます。これらの臨床現場力の向上に加えて2年間を通した地域とのかかわりで**地域包括ケアの全体像**を学べるため、南和地域にとどまらず**全国どこでも活躍できる**視野の広さと汎用性の高い臨床技能を獲得できます。

研修中に何か困ったことがあれば、随時相談はもちろん、毎月の**研修改善会議**でプログラムの改善点を話しあう機会もあり、2年間を安心して過ごせる環境が整っています。南奈良のプログラムで学べば、心理的安全の担保された環境でたくさんのチャレンジを重ね、多様な現場体験によって**ゼロがイチになる瞬間**をたくさん経験できます。各自の好きなこと・得意なことに気づき、**あなたらしく医療に貢献する方法**が見つかり、**現場で輝ける医師**へと無理なく自然に成長することができます。



南奈良で学ぶべき

3つの理由

Point 01



救急・初期対応

南和医療圏の全範囲をカバーするため症例が豊富です。Common disease から重症例まで数多く経験することで研修医が習得すべき基本的な診療技術を磨くことができます。診療科に関わらず「毎週のER研修」が通年で確保され、上級医が毎回「フィードバックシート」をくれるので、着実に実力アップできます。

Point 02



地域・総合診療

「人を診る」ための姿勢や、「地域で暮らす」ことを支える医療の在り方をしっかり学べます。南奈良での訪問診療研修や、五條病院・吉野病院・へき地診療所での地域医療研修、地域のことを知るための地域診断フィールドワークなど、南和地域の医療の全体像を学ぶことができます。

Point 03



レジデントデイ

毎月開催されるレジデントデイでは、丸一日、臨床現場を離れて学びに集中します。研修中に会った症例を皆で検討する臨床推論カンファレンス、1カ月間の振り返り、病状説明やコンサルテーションなど医師の基本スキルを上げるためのワークショップ、外部講師を招いてのスペシャルレクチャーなどが行われます。



「総合診療学」とは？

総合診療学は「たとえ健康問題を抱えていても“その人らしさ”を保ちながら生活できるよう、医療面から支えるための学問」です。相手の置かれた状況やこれまでの人生を踏まえ、病気と生活の両面に目を向けながら、その人にとって最適な医療を実践します。

総合診療医の仕事は、『何が問題か』を把握することから始まります。その問題が「よくある健康問題」「不確実な健康問題」「未対応の健康ニーズ」の範囲内なら、総合診療医がそのまま治療に携わります。

総合診療学にはこれらの状況に対処するための専門性の高い技術があります。センスに頼るのではなく、学問として学ぶことができるので、どなたでも総合診療医を目指すことができます。

南和総診 南奈良基幹型 総合診療専門研修プログラム

私たち南和総診は、南奈良総合医療センター、五條病院、吉野病院など複数の関連病院で構成されています。南和総診のメンバーは、学問に基づく総合診療の実践によって、地域住民の暮らしを医療面から支えています。その活動において、私たちは4つの価値観を大切にしています。

1

患者中心

Patient centeredness

2

連携志向

Respect for people

3

改善文化

Innovation and education

4

地域貢献

Community commitment

ステップアップ

南和総診が提供する総合診療専門研修プログラムは、総合診療学を基盤に家庭医学と診断学の両方の基礎を修得しつつ、各自が興味関心を持った領域を伸ばし、『どのような現場でも活躍できる総合診療医』を目指すプログラムです。豊富な事例と手厚い指導環境があり、総合診療医としての基礎づくりにも生涯学習にも適した環境です。総合診療専門医に続く専門医資格として、家庭医療・病院総合診療・地域総合診療・在宅医療の全ての取得を当プログラムで目指せます。福利厚生も充実しており、産休・育休の取得実績も豊富です。多数の総合診療医が所属し、切磋琢磨しあう環境です。その成果として、専門医試験成績で過去3回も「日本一」に輝き、学会や発表会でも多数の表彰歴があります。実践と学問をバランスよく修得し、実力のある総合診療医になりたい方、ぜひ南和総診と一緒に学びましょう。



南奈良専門研修の

3つの特徴

Point 01



臨床

多様な診療フィールド

南和地域の健康問題が集まる場所として、Common disease、重症疾患、診断困難例、稀な疾患など医学的介入が必要なケースはもちろん、社会背景に配慮しながらチームで支える事例など、総合診療医が対応すべき事例を多数経験できます。また、外来・急性期病棟・慢性期病棟・救急・訪問診療・へき地診療所の全ての診療の場があります。加えて、指導体制が手厚いので、これらの多様な臨床経験を指導医や仲間とともに積み上げることができるのも魅力です。

Point 02



教育

充実のカンファレンス

診断学や内科学の力を伸ばす GIM カンファレンス、家庭医学的思考を育む Family medicine カンファレンス、医師としての基礎力を底上げするケースカンファレンスなど、学びの機会が多数準備されています。また、振り返りシートを活用した丁寧なフィードバックの機会が定期的に確保されており、心理的安全性が保たれた中で果敢にチャレンジできる環境が整っています。学生や研修医の教育に関わる機会も多く、お互いに教え学び合う文化が根付いています。

Point 03



研究

学びを社会貢献につなぐ

各々の経験や学びを院内カンファレンスで発表するだけではなく、経験豊富な指導医のもと、学術総会での発表や論文文化、ポートフォリオ発表会での報告にも積極的に取り組む機会が設けられています。また、学術総会でのセッション運営、学会ワーキンググループ活動への貢献や、修士号、博士号などの学位取得・商業誌への寄稿なども精力的に行っています。経験を学術的に振り返り、社会に貢献するサイクルを重視しています。

顔の見える距離で、一生モノの経験を。



南奈良総合医療センター

〒638-8551

奈良県吉野郡大淀町大字福神 8 番 1

総合診療科
消化器内科
呼吸器内科
循環器内科
糖尿病内科
感染症内科
脳神経内科
放射線科
病理診断科
歯科口腔外科

救急科
整形外科
外科
脳神経外科
泌尿器科
眼科
耳鼻咽喉科
産婦人科
皮膚科（形成外科）
麻酔科

小児科
精神科
内分泌・代謝内科
血液内科
腎臓内科
リハビリテーション科

電車をご利用の方

近鉄吉野線「福神駅」から徒歩約 5 分。主要ターミナルの「橿原神宮前駅」からも約 20 分と、公共交通機関での通勤や移動に非常に便利な環境です。

お車をご利用の方

京奈和自動車道「五條北 IC」から約 8 分、「御所南 IC」から約 16 分。幹線道路からのアクセスも良好で、県内外からスムーズに通勤が可能です。

病院見学のご案内

研修プログラムの詳細や、実際の研修医・専攻医の様子など、パンフレットだけではお伝えしきれない情報を現地でご説明いたします。見学・短期研修とも随時募集しています。

詳しくは当院のホームページをご覧ください。

南奈良 病院見学

